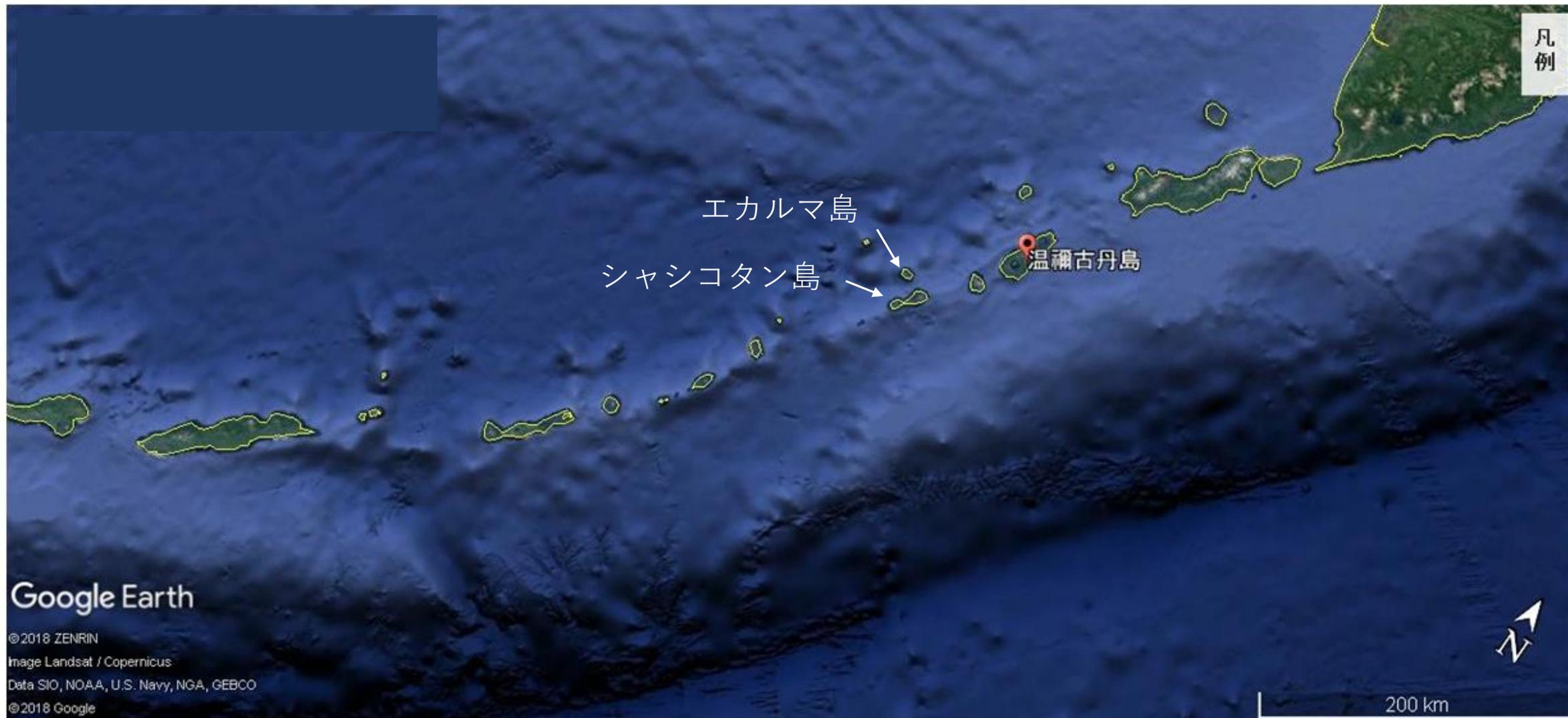


千島シャシコタン島での シジュウカラガン発見記者発表 添付資料リスト(20180831) 日本雁を保護する会作成 ver2

- 1) シジュウカラガンの群れが発見されたシャシコタン島の地図と
シジュウカラガンの群れ
(シジュウカラガンの写真は当日ファイルで提供可能：
写真使用時は、「撮影者：私市(きさいち)一康(かずやす)」と
明記すること)
- 2) 発見されたシジュウカラガンの成鳥・幼鳥構成
- 3) 中部千島列島でキツネ放飼が行われていた島
- 4) 千島アドベンチャークルーズ移動経路

資料・1) -1

シジュウカラガンの群れが発見された中部千島シャシコタン島の位置



資料・1) -2

シャシコタン島でのシジュウカラガンの発見地点とその行動

シャシコタン島-シジュウカラガン 観察地点

2018年8月12日11時頃シャシコタン島西部沿岸海上をゾディアックボートで観察中に、26羽のシジュウカラガンが観察、撮影された（私市一康さん）。

23羽と3羽の2群に別れ、3羽の群れは見失ったが、23羽はボートと島の間の海へ降りた。

写真から成鳥、幼鳥が分かるものを抽出し、幼鳥比を算出した。



Google Earth

Data SIO, NOAA, U.S. Navy, NGA, GEBCO

Image © 2018 DigitalGlobe

Image Landsat / Copernicus

資料・1) -3

シャシコタン島で発見・撮影されたシジュウカラガンの群れ



写真・情報提供；私市一康さん

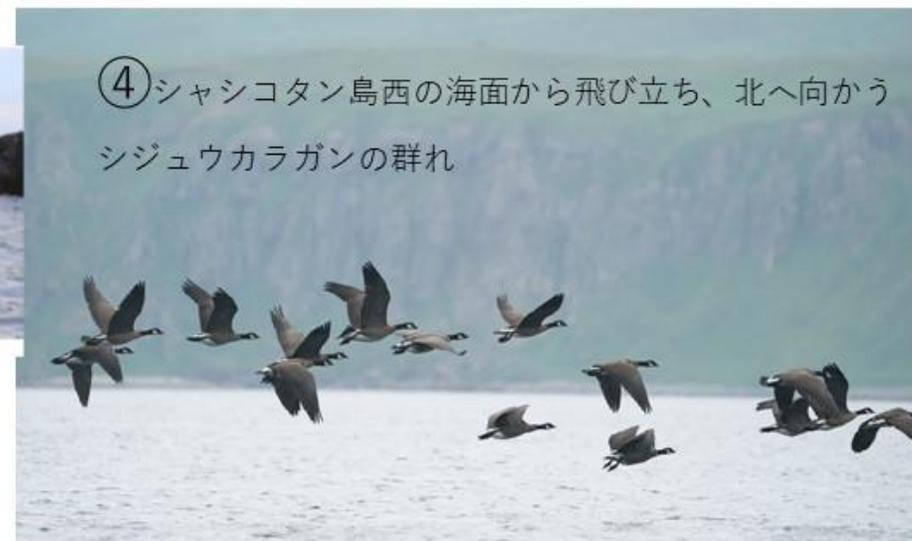


ロシア側のスタッフのニックさんはゲラシモフ博士の知り合い。シジュウカラガン発見の知らせをニックさんから受け取ったゲラシモフ博士は寄港後ホテルで関係者から聞き取り。



ゾディアッククルーズ

観察用のゾディアック（ボート）から群れを観察した。



資料・2) 発見されたシジュウカラガンの成鳥・幼鳥構成

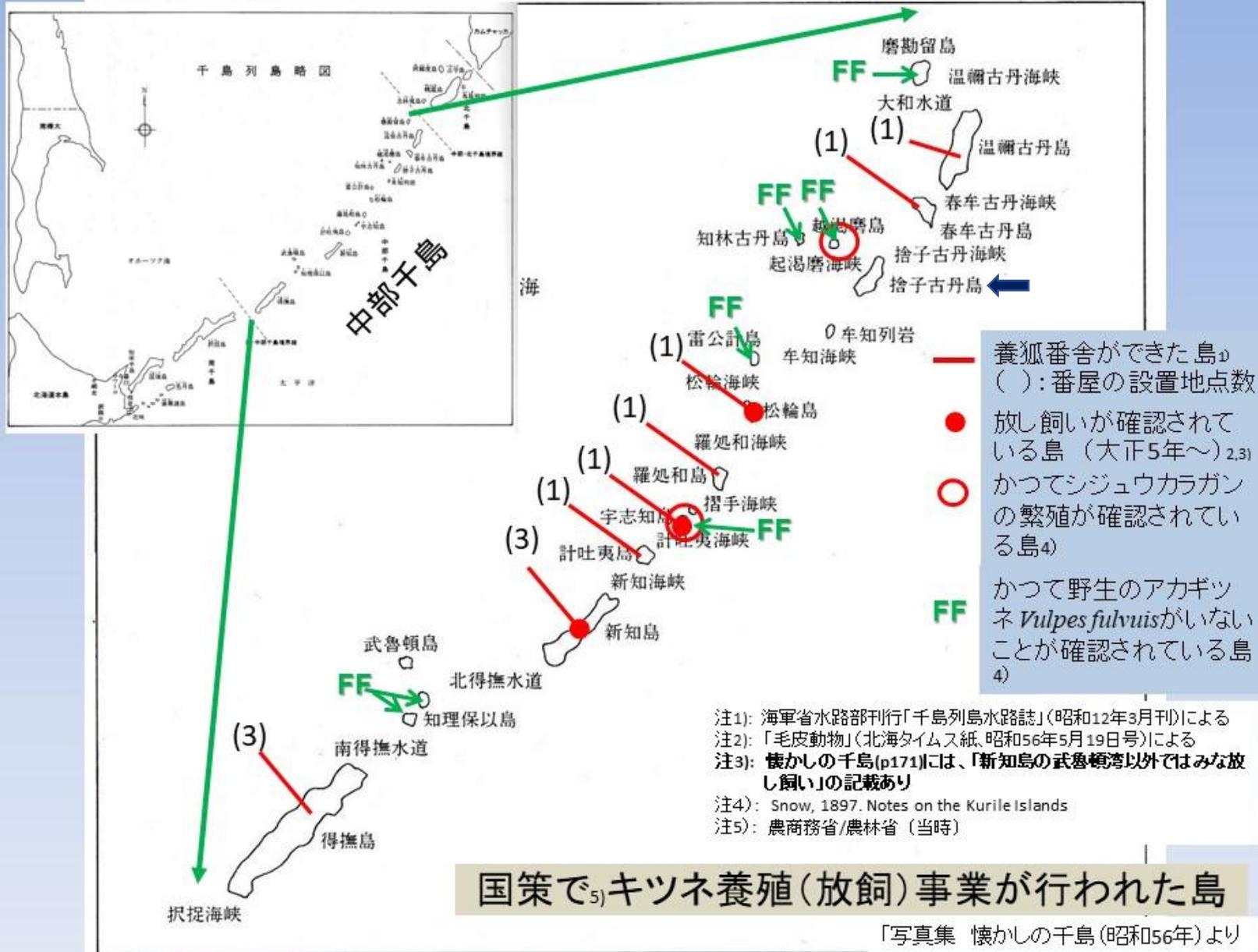
シャシコタン島で観察されたシジュウカラガン26羽の成幼比率（写真からの推定）

写真 #	群れの全数 c)*	写真の全数 d)	識別率		成鳥と確認できた 個体(a)	幼鳥**と確認できた 個体(b)	幼鳥比 (b)/[a+b]	備考
			群れ全数 [a+b]/c)	写真全数 [a+b]/d)				
3191	23	23	0.52	0.52	5	7	0.58	海面
3211	23	23	0.52	0.52	7	5	0.42	海面
3218	23	23	0.70	0.70	8	8	0.50	海面
3240	23	23	0.57	0.57	8	5	0.38	海面
3247	23	19	0.52	0.63	4	8	0.67	飛翔
3250	23	15	0.39	0.60	7	2	0.22	飛翔
3254	23	16	0.43	0.63	6	4	0.40	飛翔
3259	23	17	0.65	0.88	11	4	0.27	飛翔
3260	23	16	0.52	0.75	8	4	0.33	飛翔
3261	23	16	0.57	0.81	9	4	0.31	飛翔
3266	23	14	0.52	0.86	6	6	0.50	飛翔
3274	23	12	0.43	0.83	7	3	0.30	飛翔
3287	23	15	0.57	0.87	5	8	0.62	飛翔
3295	23	20	0.30	0.35	2	5	0.71	飛翔
total	322	252	0.52	0.66	93	73	0.44	識別できた個体の延べ数
					(23羽の群れの) 推定幼鳥数		10.11	23羽とは別の3羽を含めると、 群れの推定構成 = 成鳥 (13羽) + 幼鳥 (10羽) + 不明 (3羽) = 26羽

注* = 別群の3羽を除く

注** = 白い首環がない個体を”幼鳥”としたが、成鳥でも首環がない個体が一定割合いるのでやや過大評価になっていると思われる。

資料・3) 中部千島列島でキツネ放飼が行われていた島



資料・4) 千島アドベンチャークルーズ移動経路



野生動物を観察



アフィナ号 AFINA



ゾディアッククルーズ

特別企画 千島列島アドベンチャークルーズ

カムチャッカ半島から千島列島へ 西遊旅行のチャーター船利用で巡る日本初となる特別企画

